佐志岳（南部中学校通信）Ｎｏ．２７

前へ☆　周りへ☆　発信！

学校教育目標　「心豊かな生徒」「自ら学ぶ生徒」「心身ともにたくましい生徒」
校　　訓　「自主・責任・規律・親和」　Ｒ６．３．１４発行　文責　校長　本多　博

本日、第１９回卒業証書授与式が開催され、３０名の卒業生が巣立ちました。
卒業生の未来に希望と幸多きことを、心から願っています！

卒業生の皆さんが入学した令和３年４月は、新型コロナウイルス感染による制約がまだある中でのスタートでした。そうしたコロナ禍であっても、歩みを止めることなく、南部中学校の良き伝統を守った２年間。そして、通常の教育活動を取り戻した今年度は、最高学年として先生方や仲間と力を合わせ、力強く本校の教育活動の中心を担ったのは、間違いなく卒業生の皆さんでした。そんな皆さんに「北側の斜面で育つ木」の話を、校長としてのはなむけとさせていただきます。

山の南側は、日当たりが良く、日照時間も長いため、太陽からの光が十分に降り注ぎ、植物が育つうえで良い環境です。そこで育つ木は、葉や枝を広げ日々成長します。一方、山の北側は、日当たりが悪く、日照時間も短いため、植物が育つにはとても厳しい環境です。そこで育つ木の成長は遅く、なかなか大きくなりません。しかし、伐採できる大きさまで成長した後は、山の北側で育った木の方が、質の高い、良い木材になると言われています。

木は一年成長する毎に年輪を刻みます。山の北側の厳しい環境で、時間をかけてじ成長した木は、成長する速さが遅い分、年輪と年輪の間隔が狭く引き締まった、丈夫で強い木になるのだそうです。一方、山の南側で育った木は、成長が早い分、年輪と年輪の間隔が広く、結果的に強度が低く弱い木になってしまうのです。

また、山の南側で育った木は、移動する太陽を追って成長するため、木の内側が捻れてしまいます。一方、北側で育った木は、太陽の動きに左右されずに、天に向かって真っ直ぐに成長し、木材としての価値が一層高くなるらしいのです。

さて、卒業生の皆さん、皆さんがこれから生きていく時代は、変化が激しく、将来を予想することが難しい時代と言われています。しかし、世の中が大きく変化する時だからこそ、何も変わらず、しっかり守っていかなければならないものがあるはずです。山の北側で育った木が、天に向かって真っ直ぐに成長するように、世の中や時代の流行に流されない自分の思い、まっすぐな生き方、支えてくれた方々への感謝の気持ちや思いやりの心を大切に、目標に向かって伸びやかに成長することを期待しています。また、困難な環境でじっくりと育った木が、丈夫で引き締まった強い木材となるように、今後の人生で経験する出来事や困難に、逃げることなく、そして焦ることなく立ち向かい、それらを糧として逞しく成長してくれることを心から願っています。

今後、一人一人の進路先は分かれますが、この南部中学校で得た仲間と経験、そして学びを胸に、それぞれの道を夢に向かって力強く歩んでください。これから始まる、卒業生３０名の未来に希望と幸多きことを、心から願っています。

校長より